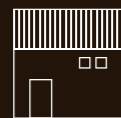


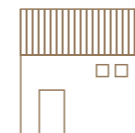


描こう、木の家の暮らし。



平成27年度  
いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

茨城県木材協同組合連合会



平成27年度  
いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

描こう、  
木の家の暮らし。

この冊子は「いばらき地域適合型木造住宅」の基本的な考え方を啓発普及するために作成されたものです。掲載される記事内容はすべて各チームからの提出書類を要約したもので、「宣伝広告」を意図したものではありません。  
また当連合会では、これら各グループへの仲介斡旋は一切行っておりません。



木造住宅相談店

主 催 / 茨城県木材協同組合連合会  
協 力 / 茨城県  
後 援 / (一社)茨城県建築士事務所協会・(一社)茨城県建設業協会

〈お問合せ先〉  
茨城県木材協同組合連合会  
TEL.0294-33-5121 (代) FAX.0294-33-5191  
(e-mail) mokuren@atlas.plala.or.jp  
茨城県土木部都市局住宅課  
TEL.029-301-4759 FAX.029-301-4779

# 描こう、木の家の暮らし。

茨城の気候風土で育まれた県産材の魅力あふれる家をご紹介します。



地元の大工が地元の木で作る。  
日本の「いい家」のつくりかた。

## Concept note

■地元の大工が地元の木で建てるといい家になる、と言われる。南北に長い日本は気象や地理条件が地域で異なり、その土地独自の材の選び方、組立方など長年積み重ねられた経験や工夫を取り入れる地元の大工こそが、長く住める家を建てられるからです。また、地域大工・工務店は完成後もきめ細かいアフターメンテナンスや修繕に対応します。地域には信頼関係に根ざした安心できる家づくりのシステムが構築されていたのです。■茨城県では家づくりの原点に戻り、地域が育んだ木材を利用し現代のライフスタイルに合う木造住宅を適正な価格で提供するため、地域の大工・工務店と建築設計事務所が連携・協力しながら、家づくりを通して建築主との信頼関係を育てていく、安心と信頼の地域ルール「いばらき地域適合型木造住宅供給システム（自然が育み、人の和が育てる）」を確立したいと考えています。■関連事業者の連携、協力のもとに提供された良質な木造住宅の企画や提案を含む建築実例を募集し、ここにまとめました。皆様の家づくりの検討の一助となれば幸いです。

## Contents

●吉沼の家	.....	藤井設計十(株)吉田工務店	01
●のどかに暮らす家	.....	(株)カナザワ建築設計事務所十(有)新理工舎設計	02
●常陸太田の家 / HOUSE IN HITCHIOTA 2014	.....	尾関建築設計事務所十(株)木業工房	03
●フリーアドレスのいえ	.....	郡司建築工業所	04
●光と風が棲む家	.....	郡司建築工業所	04
●松丸太のトンネル	.....	Live Haus 建築設計所十(有)田宮建設	05
●舟石川の家	.....	藤井設計十(株)丸誠	05
●My house	.....	草間孝治十石塚林業	06
●いつでも読書を楽しめる家	.....	ヒタモク(有)ヒタ	06
●あつたかいで空間広がる二世帯の家	.....	イチカワ建築設計事務所十海老根工務店	07
●でっぴりのある家	.....	一級建築士事務所 scale十石田工務店	07
●掘りごたつとライブラリーが紡ぐ家族の関係	.....	飯田貴之建築設計事務所十(株)竹屋	08
●つづら工房のある家	.....	一級建築士事務所あとろえ十郡司建築工業所	08
●田園風景を眺める家	.....	m . style 一級建築士事務所十(株)井上工務店	09
●3X10 / Court house	.....	ed design 一級建築士事務所十(株)岡田工務店	09
●大きな柿の木とおばあちゃんの家	.....	TS D + 高橋建築構造設計室十(株)渡辺建工	10
【講評】.....	.....	(社)茨城県建築士会会長 柴 和伸	12

●...平成27年度いばらき地域適合型住宅コンペ最優秀賞作品 ●...優秀賞作品

※表紙および作品紹介以外のページに掲載された写真はすべて「最優秀賞：吉沼の家」のもので、  
※受賞者の意向等により、「坪単価」「各階床面積」等の掲載がない作品もございます。ご了承ください。  
※各作品の「坪単価」は税別価格です。

## 最優秀賞

## 吉沼の家

### よしぬまのいえ

### 藤井設計

### 十 株式会社 吉田工務店



居間／土間と上部の窓から射し込む光が心地良い空間に

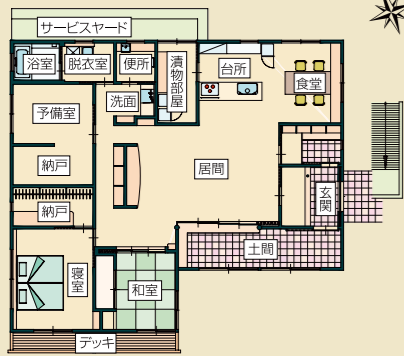


外観／軒が深く、立体感があるため、個性的な印象を受ける

**家族のつながりを重視、いつでも帰れる家。  
温かな思いやりを詰め込んだ住まい。**

■「明るくてあたたかい、住み心地のいい家」が希望の、子育てを終えた夫婦の住まい。■平屋でも、吹き抜けのように天井が高く、広々としたリビング。南面に大きな開口と土間のサンルーム。上部に小窓を付け、明るく風通しのよいリビングとした。■「土間は奥様が大好きな花を育てるサンルーム。冬は日差しで暖められた空気を、夏は深い軒で日差しを遮り土間のひんやりした空気を、花の香りとともにリビングへ運び、過度な冷暖房に頼らなくても快適に生活できる空間を目指しました。和室は、普段から多目的に使えるスペース。週に二度、車椅子のお母

様が訪問されるとお聞きしました。そのため、車椅子からの移乗が楽にできるよう、一段高く設置、洗面所やトイレも車椅子でも使いやすい広さにして、寛いでいただけるよう配慮しました。独立されたお子様たちが、いつでも帰ってこられるように配慮した納戸と兼用できるゲストルームがあり、離れて暮らしていてもつながりを大切に「ご家族の思いやりあふれる住まいになりました。」■構造材(柱・梁等)には地元産の杉材を使用。天井にも杉の無垢材、床材にはナラ、壁には珪藻土を使用し、ほのかに木の香りがする、清々しい空間となりました。



平面図

申請者：藤井設計 029-251-6330  
 工事施工者：(株)吉田工務店 029-254-1757  
 延床面積(坪)：165.25㎡(50坪)  
 坪単価：660,000円



平成27年度  
いばらき地域適合型  
木造住宅コンペ作品集



外観 / 周田の環境に馴染むウッドデッキが映える



リビング / インパクトのある梁と大きな窓で広々とした空間

周辺環境に馴染む木の質感を存分に感じられる広々とした住まい。

■茨城県の東、ひたちなか市の郊外に位置するこの住まいは、周囲にさつまいも畑が広がる、視界もひらけた自然環境に恵まれた敷地が魅力。「茨城の気候風土にあわせ太陽の光と風を室内に十分に取り入れられる暮らしを実現するために、のびのびと屋根を広げ、土地になじみ、愛着が持てる家を目指そう」と考えた。■大きくあけられた開口は広々としたデッキと連続させ、室内の空間の延長として庭と繋げた。それにより、視覚的な広さを確保し、のびのびとした暮らしを演出できる。冬には太陽の光を室内に存分に取り込むことができ、ぬくもりをうみだす。また、日照時間の長さなど、条件の良い茨城の環境を最大限に生かすために、太陽光によるエコロジーな暖房を採用した結果、太陽がさんさんと輝く日の暖房代は0円となり、経済的にもやさしい住まいを実現することができた。■地元・茨城県での地産地消を基本とした生活に出来る限り近づきよう、県産材の無垢材を多く採用した。



申請者:	(株)カナザワ建築設計事務所 029-246-6812
工事施工者:	(有)新築工舎設計 029-257-8950
延床面積(坪):	193.91m <sup>2</sup> (58.76坪)
1階床面積:	140.74m <sup>2</sup> (42.57坪)
2階床面積:	53.20m <sup>2</sup> (16.09坪)



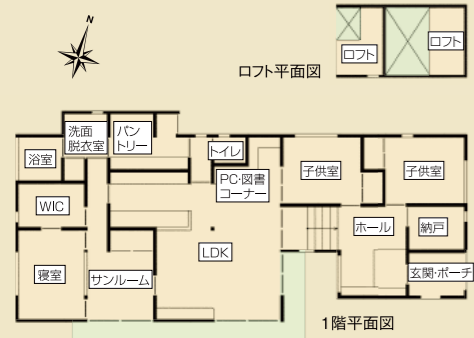
LDKから見るスキップフロア。中央に配置された梁は、一本の木として家族と共有できる



外観 / 傾斜する敷地を利用した効率的な住まいづくりを実現

一本の中引き梁を家族で共有し、ぬくもりを感じながら過ごす住まい。

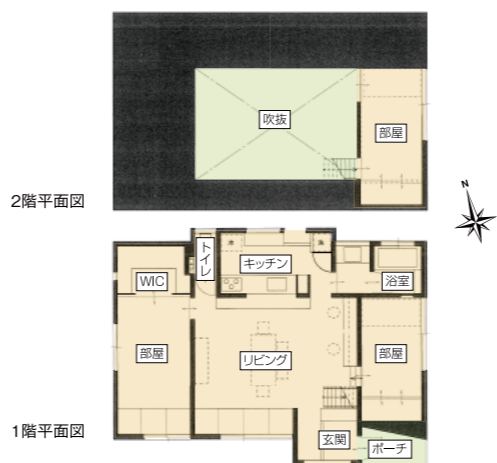
■施主と共に、産地での伐採製材・手刻み加工・上棟・仕上げのプロセスを共有。伐採体験ツアーで施主と採取した三本の松丸太は、大工技術を駆使し十七mを超える一本の中引き梁となった。一般的に、施主は最終的な製品にしか触れる事ができない。しかし、この家では、梁を見上げ柱に触れるとそれらの木材が、もとは山にあった様子を思い出す事ができる。■傾斜した丘にある高低差を敷地の特徴として捉え、スキップフロアを手掛かりに、回遊性と空間の広がりを繋がり配慮したプランを計画。中引き梁は建物の東端から西端にかけて中央に配置することで、空間全体を支えつつ各居室から見上げることができ、いつでも家族で一本の木を共有する事ができる。■構造材や造作材、建具などは、地場の杉・松の無垢材を使用し、全ての木材の加工は職人の手仕事によるもの。また、下地材には合板類を一切使用せず、仕上げ材の自然素材も厳選することで、化学物質の低減を徹底し、健康で快適な住まいを追求した。



申請者:	尾関建築設計事務所 0294-72-6121
工事施工者:	(株)木楽工房 0294-85-8686
延床面積(坪):	122.07m <sup>2</sup> (36.99坪)
坪単価:	759,000円



■リビングはワークスペース・キッチン・ユーティリティなど、就寝以外の時間はどこにいても常に家族の気配を感じながら生活ができる。各部屋は快適な眠りを目的としたコンパクトな大きさを追求。フリーアドレスにすることで、時に眺望を楽しみ、時に庭を楽しみ、時にクローズにして集中し、すべての部屋を家族で共有する気分を変えながら家族の時間を大切に、自立した生活スタイルを送ることができる。■構造材に、地域材を使用した。



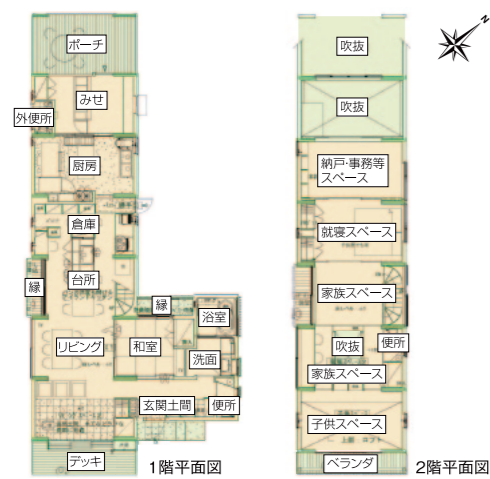
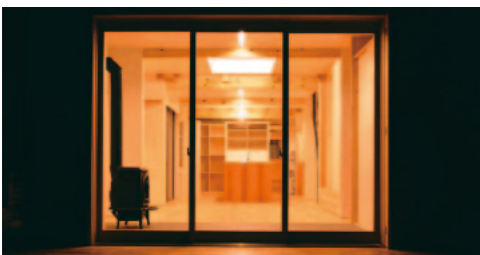
申請者：郡司建築工業所 0296-22-3804  
 工事施工者：郡司建築工業所 0296-22-3804  
 延床面積(坪)：83.01m<sup>2</sup>(25.07坪)  
 坪単価：627,903円  
 1階床面積：73.70m<sup>2</sup>(22.26坪)  
 2階床面積：9.31m<sup>2</sup>(2.81坪)

松丸太のトンネル

LiveHaus 建築設計所  
 +(有)田宮建設



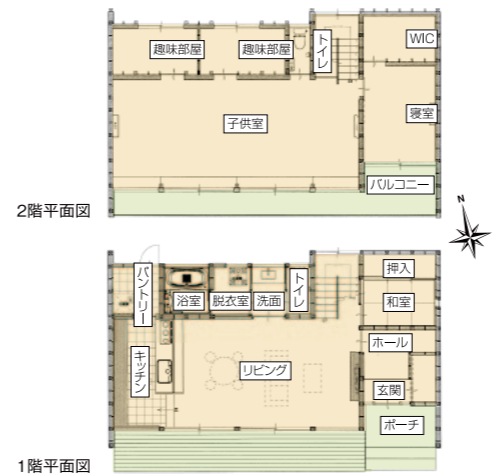
■パン屋を併設する住まい。敷地に合わせた細長い建物で幹線道路からは大らかに見え、高さを抑えたアプローチ側は優しい佇まい。内部は松丸太と耐力壁が等間隔で並ぶトンネルのような空間で、壁のくぼみを机や階段、収納等に利用し、また建具や家具で緩やかに仕切ること、その時々居場所を作り出すことができる。■土台と外部の柱にヒノキ材、タルキ材に杉、あらかしの梁に松丸太など、軸組の全てを県産材とした。



申請者：LiveHaus建築設計所 029-857-6944  
 工事施工者：(有)田宮建設 0296-44-9855  
 延床面積(坪)：164.79m<sup>2</sup>(49.86坪)  
 坪単価：50万円台  
 1階床面積：107.20m<sup>2</sup>(32.48坪)  
 2階床面積：57.59m<sup>2</sup>(17.45坪)



■高気密を保ちつつ、家の中においても光と風を感じられる。「軒を深くしたので夏の日差しを遮り、冬の日差しを取り入れ、有効的に室内に光を送り込めます。室内は木の仕上げとし、光が壁や天井にあたることで、経年変化で木の魅力を高めます。施工自ら塗装した壁や天井も、その風合い、色合いを楽しみながら、家族がその家で過ごした時間の長さを感じる事ができる住まいにしました。」■地域材を構造材に使用した。



申請者：郡司建築工業所 0296-22-3804  
 工事施工者：郡司建築工業所 0296-22-3804  
 延床面積(坪)：139.12m<sup>2</sup>(42.04坪)  
 坪単価：548,745円  
 1階床面積：69.56m<sup>2</sup>(21.02坪)  
 2階床面積：69.56m<sup>2</sup>(21.02坪)

舟石川の家

藤井設計  
 +(株)丸誠



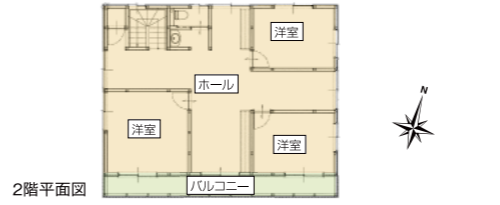
■敷地は、新興分譲地の一角。住宅に囲まれた中で「自然素材豊かな家」が施工主の要望。■「南側に伝統建築のぬれ縁をイメージした木製デッキを設置。居間は吹き抜け天井で、二階からも家族の気配を感じられるひろがりのある空間に。建物の中間にサービスヤードを設け、その奥に施工主の趣味空間を設けることで、共有スペースとプライベートスペースの距離感を保つことができた。」■構造材は地元産の杉、外壁材は杉板張り。内装も床・天井に杉板の無垢材を使用し、自然素材の良さを表現した。



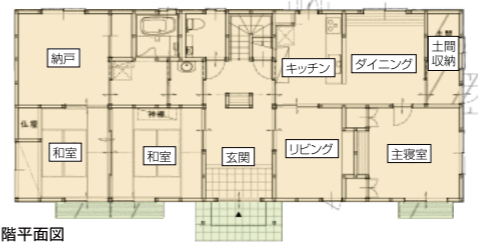
申請者：藤井設計 029-251-6330  
 工事施工者：(株)丸誠 029-252-3114  
 延床面積(坪)：158.64m<sup>2</sup>(46坪)  
 坪単価：633,000円  
 1階床面積：116.50m<sup>2</sup>(35.30坪)  
 2階床面積：34.70m<sup>2</sup>(10.51坪)



■ 自宅の改築工事。コンセプトは「シンプルでいて単調にならないファサード。住み慣れた我が家の面影と遊び心を感じさせる間取り」。■ 地域材をふんだんに使用した住まい。「外部南面には、木製の格子と化粧柱・梁・垂木や野地板の現しに地域材を採用しました。それにより、木造本来の構造体の力強さを表現しました。内部の和室には、建具にシナベニヤを採用し、特注で作成しました。シナベニヤの上品な色味により、和室らしくない和室を演出しました。」



2階平面図



1階平面図

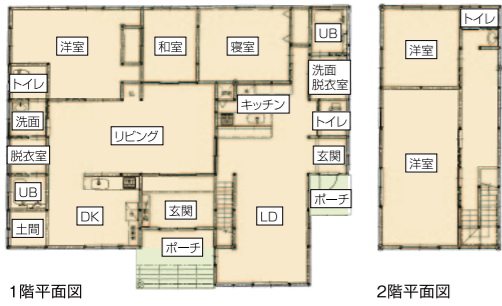
申請者：草間孝治 090-2252-4011  
 工事施工者：石塚林業 0297-57-5816  
 延床面積(坪)：198.74m<sup>2</sup>(60.22坪)  
 坪単価：439,497円  
 1階床面積：125.87m<sup>2</sup>(38.14坪)  
 2階床面積：72.87m<sup>2</sup>(22.08坪)

あったかいで空間広がる  
二世帯の家

イチカワ建築設計事務所  
+ 海老根工務店



■ 親、子、孫、そこに住む人が健康的に暮らせることを第一に考えた住まい。「外張り断熱による高気密・高断熱を実現。換気による熱のロスを極力減らすため全熱交換システムを採用し、省力で常に暮らしやすい環境を実現。また、悪い物質を発生させないため構造材、仕上げ材に至るまで全て無垢の木を採用しました。」■ 「インテリアも、ふんだんに使った木がよく見えるように配慮しました。特に大工の手仕事による手斧仕上げの梁や、通し柱などをデザインのポイントとしています。」



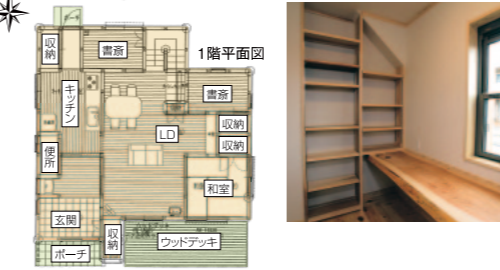
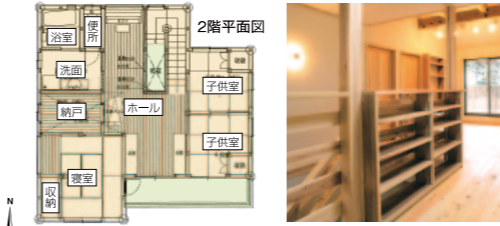
1階平面図

2階平面図

申請者：イチカワ建築設計事務所 029-354-7740  
 工事施工者：海老根工務店 0294-76-3277  
 延床面積(坪)：250.8m<sup>2</sup>(76坪)  
 坪単価：600,000円  
 1階床面積：191.4m<sup>2</sup>(58坪)  
 2階床面積：59.4m<sup>2</sup>(18坪)



■ 暮らし方が確立している施主家族。高い安全性と省エネ性能、快適性を兼ね備えた。■ 採光と通風性に優れ、さらに大容量の本棚を設置。自然の風と太陽の光を活用し、家の何処に居ても読書が楽しめる。「木の香りと爽やかな風が通る、居心地の良い家です。」と施主。■ 「木材は乾燥が命。」プロのこだわりで自社倉庫にて自然乾燥させて用いた。構造材のほとんどが茨城県産の杉・檜。下地材内装材は全て国産材でまかなった「地産地消の家」である。



申請者：(有)ヒダ 029-867-0155  
 工事施工者：(有)ヒダ 029-867-0155  
 延床面積(坪)：139.94m<sup>2</sup>(42.34坪)  
 坪単価：614,000円  
 1階床面積：73.70m<sup>2</sup>(22.33坪)  
 2階床面積：66.24m<sup>2</sup>(20.07坪)

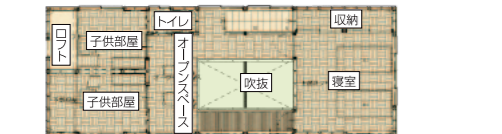
でっぴりのある家

一級建築士事務所 scale  
+ 石田工務店

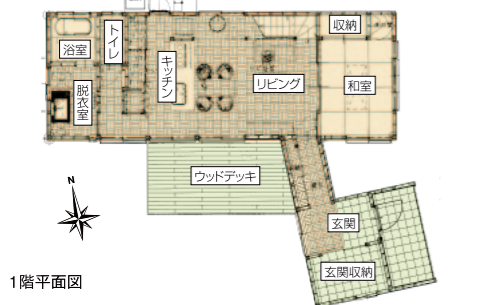


■ 玄関の「でっぴり」が建設地の「卓越風」を建物内に取り込み、直射光をリビングに取り込む為に「斜めの壁の玄関」を持つ住まい。玄関の「でっぴり」が全面道路からの視線を遮る「準コートハウスの家」となり、リビングを中心にお互いの存在を感じられる「楽しい家」。

■ 「先祖代々、船大工を営んでいた棟梁が吟味した、その地域の木を用い、見えないところまで手を抜かず、半年以上の時間をかけ大切に創りました。」地域材を柱筋交い・束・大引き・母屋・垂木などに使用した。



2階平面図



1階平面図

申請者：一級建築士事務所 scale 029-246-6381  
 工事施工者：石田工務店 029-264-3491  
 延床面積(坪)：122.34m<sup>2</sup>(37.01坪)  
 坪単価：620,000円  
 1階床面積：71.43m<sup>2</sup>(21.61坪)  
 2階床面積：50.91m<sup>2</sup>(15.40坪)

# 掘りごたつとライブラリーが 紡ぐ家族の関係

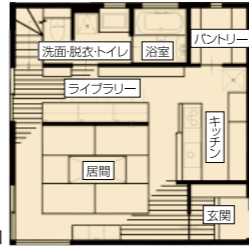
飯田貴之建築設計事務所  
+ (株)竹屋



■ 四人家族の施主からのご要望は、「家族が一緒にいられる家」。敷地は傾斜部分が多く、効率的な家づくりが求められた。規格材が使えぬモジュールを四つ集めたシンプルな形状とした。外周部に強い耐力壁を設け、室内は大黒柱のみで自立する構造としながら、耐震等級三を確保。これにより室内は「がらんどう化」でき、将来的な間取りの変更が容易に。住み手の変化に対応し、長く棲み続けられる住まい。■ 構造材には、県産材の杉を使用した。



2階平面図



1階平面図

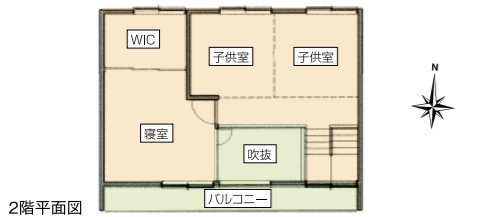
申請者：飯田貴之建築設計事務所 029-887-5332  
工事施工者：(株)竹屋 0297-64-5168  
延床面積(坪)：105.98㎡(32.11坪)  
1階床面積：52.99㎡(16.05坪)  
2階床面積：52.99㎡(16.05坪)

# 田園風景を眺める家

m・style 一級建築士事務所  
+ (株)井上工務店



■ 南側に田園が広がり、他の三面を住宅地に囲まれたひな壇上の一番下の敷地。プライバシーを考慮し、南面のみ開放的なデザインにした。■ 施主の「木を沢山使ってほしい」との要望を受け、構造材の半分以上を県産材。内装には県産材を用いた構造材を表し、床や天井材も無垢材を要所に使用。家の中心に設けた吹抜けは部屋を空間的につなぎ、コミュニケーションしやすいようにした。「仲良し家族の生活に、周辺の自然環境が色を添えるやさしい家となった。」



2階平面図



1階平面図

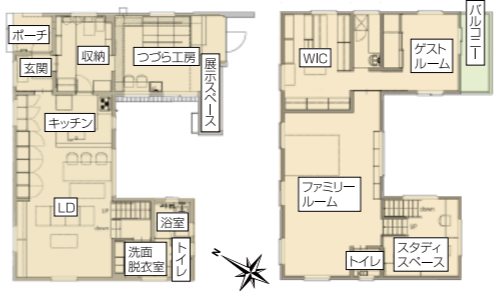
申請者：m・style一級建築士事務所 029-845-3500  
工事施工者：(株)井上工務店 029-263-0211  
延床面積(坪)：101.01㎡(30.55坪)  
坪単価：750,000円  
1階床面積：64.58㎡(19.56坪)  
2階床面積：36.43㎡(11.03坪)

# つづら工房のある家

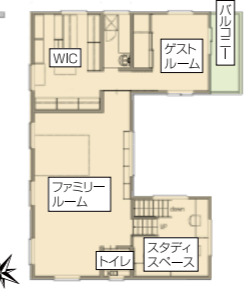
一級建築士事務所あとりえ  
+ 郡司建築工業所



■ 人通りの多い大通り沿いに建つ、つづら工房を備えた住まい。ショーウィンドウを備えたつづら工房は、人目にとまるように通りに大きく開き、住宅部分は周囲からの視線を気にせずプライベートな時間を過ごせるよう木板扉を巡らせた中庭型の間取りを採用。金属と木材がお互いの魅力を引き立てあっている。■ ここで制作されるつづらも、県産の竹を使用。建物も暮らしもまた、マイドイン茨城の木造住宅。



1階平面図



2階平面図

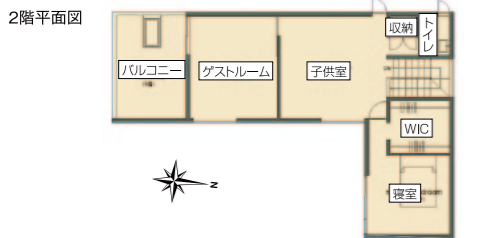
申請者：一級建築士事務所あとりえ 03-6802-3227  
工事施工者：郡司建築工業所 0296-22-3804  
延床面積(坪)：167.84㎡(50.77坪)  
1階床面積：85.72㎡(25.93坪)  
2階床面積：82.12㎡(24.84坪)

# 3x10 Courthouse

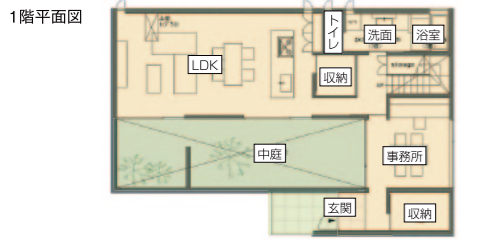
e do design 一級建築士事務所  
+ (株)岡田工務店



■ 二階の東面から霞ヶ浦と土手の桜を楽しめる敷地。多くの住宅が南側を庭としていたが、あえて東向きに大きく開き、端部をL型にし、一部が南向きとなるかたちを採用。■ 二階はL型に沿って東面に長い約3x10メートルの中庭を計画。LDKや来客のある事務所スペースが中庭に面し、外からの視線を気にすることなく陽の光を楽しむことができます。■ 構造材は全て地域材を利用。「木をふんだんに使用した内装ではありませんが、中庭があることにより、自然を感じられる家になりました。」

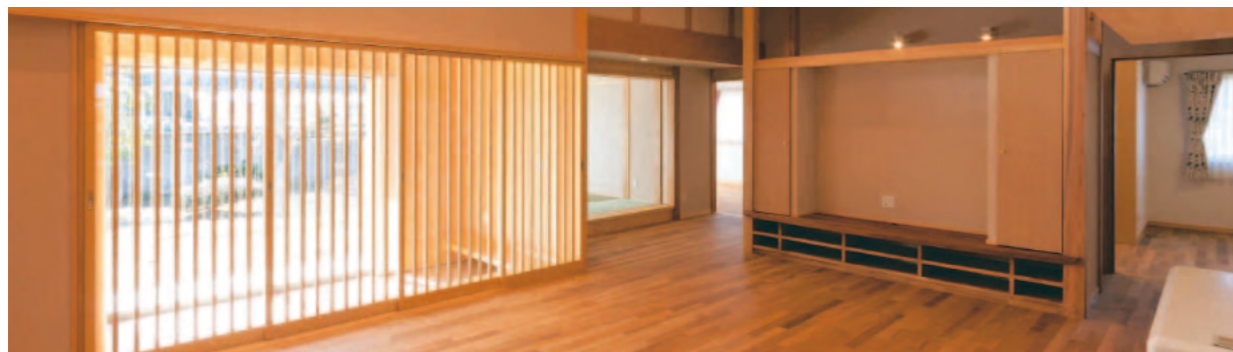


2階平面図



1階平面図

申請者：e do design一級建築士事務所 029-886-3502  
工事施工者：(株)岡田工務店 029-841-0844  
延床面積(坪)：158.57㎡(47.96坪)  
坪単価：635,000円  
1階床面積：88.60㎡(26.80坪)  
2階床面積：69.97㎡(21.16坪)



「いばらき地域適合型木造住宅」とは？

気候風土を踏まえ、地域材を活用してつくる家。

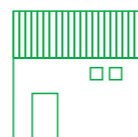
茨城県の気候・風土等の地域性を踏まえ、地域材(※)を活用し、かつ、ユーザーにとって充実感のある住宅とし、これからの木造住宅の指針となるべきコンセプトを明確にした住まい。

※地域材とは次のいずれかに該当す木材及び木材加工品。

- ①県内の森林から生産された原木により製材されたもの。②県内の製材事業所で製材されたもの。

【主な設計基準】

- (1) 地域材を構造材全数量の50%以上使用していること。
- (2) 内装材として、地域材を積極的に活用し、快適でやすらぎのある住空間をすること。
- (3) 住宅の長期の耐久性を確保し、また、地域の自然、景観、生活様式等と調和し、世代を超えて継承・持続されるような工法・間取り・デザイン等を採用すること。



なぜ地域材がいいの？

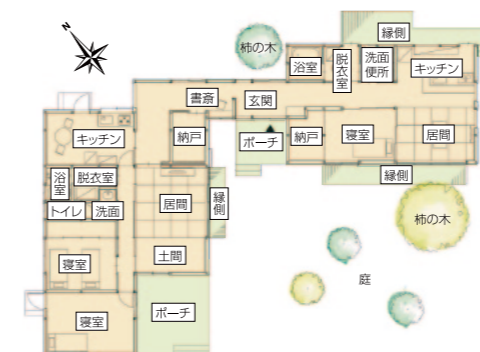
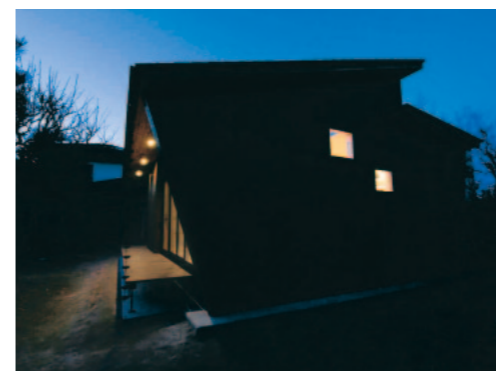
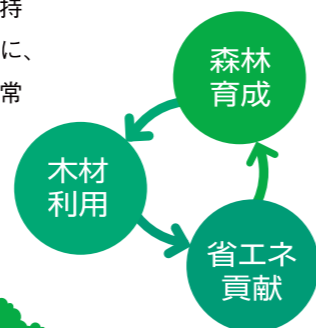
地域の森林の活性化を図り、地球にやさしい家づくりができる。

- 森林は、化石燃料などの代替エネルギーとして注目されています。成長期に高レベルの二酸化酸素削減効果を発揮し、地球温暖化の防止策としても役立ちます。
- 地域の森林資源を積極的に活用し、同時に植林を進め、常にバランスのとれた循環を整え、資源を生み出しながら、地球環境保護に貢献する森林を育成できる。地域材を使用する意義はここにあります。

地球環境を守るサイクルとは？

「森林育成」「木材利用」「省エネ貢献」。次代につなぐ、大切なサイクルです。

- 森林を育成するためには、木材の利用を促進する必要があります。木材で建築資材を作るとは、他の原料よりも効率がよく、また余分なエネルギーがかかりません。冷暖房費の節約にもつながり、省エネへの貢献度も決して小さくありません。■家づくりに用いられた木材が、いずれ土をはじめとする自然に還り、また森林を育成していく…。自然の循環、持続可能なエネルギー確保のために、木を使って家を建てることは、非常に有用なのです。



平面図

申請者：TSD+高橋建築構造設計室 029-823-7867

工事施工者：(株)渡辺建工 0296-37-6124

延床面積(坪)：155.40m<sup>2</sup>(46.98坪)

坪単価：743,000円



■おばあちゃんと二世帯帯が暮らす、平屋の二世帯住宅。安心感がありつつ気を遣わない、程よい距離感でつながること。広い庭にある思い出の柿の木を残して家を建てるのが求められた。木をたくさん使い、安心感とぬくもりのある家とした。■構造材、造作材とも地域材をふんだんに使用。地域材に精通した地元の大工ならではの知識と経験の生きた住まい。昔から使われている桐タンスや古い建具等も使用し、ぬくもりと温かみのある住空間を創り出した。



描こう、木の家の暮らし。

「平成二十七年 度 いばらき 地域 適合 型 木 造 住 宅 コ ン ペ」 の 審 査 を 終 えて

一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸

平成二十七年 度「いばらき 地域 適合 型 木 造 住 宅 コ ン ペ」には、建 築 設 計 事 務 所 と 地 域 の 工 務 店 が 協 力 し 合 い な が ら 知 恵 を 結 集 し、地 域 の 自 然 が 育 ん だ 木 材 を 活 用 し、現 代 の ラ イ フ ス タ イ ル に あ わ せ た 木 造 住 宅 十 七 作 品 の 応 募 が あ り ま し た。

竣 工 し た 住 宅 作 品 に よ る コ ン ペ は 今 年 で 五 回 目 を 迎 え、設 計 者・施 工 者 の 経 験 と 知 恵 を 傾 注 し、今 回 も そ れ ぞ れ の 作 品 が 敷 地 を 有 効 に 活 か し 周 辺 環 境 に 調 和 し た 作 品 と な っ て い ます。設 計 者・施 工 者 そ れ ぞ れ の 経 験 や 知 恵 に よ っ て 培 わ れ た 専 門 技 術 を 注 意 し た 住 宅 は、改 め て 気 候 風 土 を 踏 ま え、地 域 材 を 活 用 し た 木 造 住 宅 の 素 晴 ら し さ を 感 じ さ せ て く れ ま し た。

応 募 作 品 は い ず れ も、茨 城 県 産 木 材 を 用 い な が ら、木 の 持 っ っ 優 し さ、あ た た か さ を 生 か し た 力 作 揃 い と な り ま し た。

審 査 は、七 名 の 審 査 委 員 に 応 募 作 品 の 中 か ら そ れ ぞ れ が 四 作 品 を 選 出、投 票 い た だ き、上 位 選 出 作 品 の 中 か ら 審 査 員 の 講 評 を い た だ き な が ら 慎 重 に 検 討 の 結 果、最 優 秀 作 品 「吉 沼 の 家」、優 秀 作 品 「の ど か に 暮 ら す 家」、優 秀 作 品 「常 陸 太 田 の 家」の 三 作 品 に 決 定 い た し ま し た。

惜 し く も 選 外 と な っ た 応 募 作 品 も、そ れ ぞ れ が 県 産 木 材 を 生 か し た 力 作 で あ り、応 募 さ れ た 方 々 に は 審 査 委 員 長 と し て 感 謝 申 し 上 げ ま す と 共 に、次 の 機 会 に は さ ら に 一 層 の 力 作 の 応 募 を、ご 期 待 申 し 上 げ ま す。

【最優秀作品】

「吉沼の家」

吹 抜 け の よ う な 高 い 天 井 が リ ビ ン グ に 光 を 取 り 込 み、広 い 空 間 を や さ し く 包 み 込 ん で い ます。

夏 は 深 い 庇 で 涼 し く、冬 は 暖 か く、日 本 家 屋 の 特 徴 で あ る 深 い 軒 と 高 い 天 井 で 構 成 さ れ た 豊 かな 空 間 が、快 適 な 「住 ま い」を つ く り 出 し て い ます。

和 室 を 多 目 的 に 使 え る ス ペ ー ス と し た 住 空 間、洗 面 所 や ト イ レ を 車 椅子 対 応 と し た 気 づ か い、さ ら に 離 れ て 暮 ら す 家 族 を つ な ぐ 「茶 の 間」と し て の 工 夫 が 凝 ら さ れ、明 る く、あ た た かな 心 が こ も っ た 「住 み ぐ こ ち の よ い 家」と な っ て い ます。

【優秀作品】「のどかに暮らす家」

自 然 環 境 に 恵 ま れ た 広 々 と し た 敷 地 の 中 に 太 陽 の 光 と 風 を 最 大 限 に 受 け と め る か の よ う に 南 向 き に 建 つ 家 は、雁 行 し た 間 取 り と 大 き な 開 口 部、さ ら に、連 続 し た デ ッ キ で 構 成 さ れ、ま た、ダ イ ン グ の 吹 抜 け が、さ ら に の び や か で 大 ら かな 空 間 を つ く り 出 し て い ます。

木 製 の デ ッ キ と 連 なる リ ビ ン グ・ダ イ ン グ、ワ ー ク ス ペ ー ス は 内 部 と 庭 と の つ な が り を 演 出 し つ つ、自 然 環 境 と の 調 和 の 中 で、茨 城 の 風 土 を 生 か し た 「住 ま い」を つ く り 出 し て い ます。

【優秀作品】「常陸太田の家」

阿 武 隈 山 系 か ら 伐 り 出 さ れ た 一 本 の 丸 太 が 家 の 中 で 生 き つ づ け、空 間 全 体 を 支 え な が ら 家 族 を 見 守 っ て い ます。

Comment

循 環 型 を 目 指 す 社 会 の 中 で、山 と 人 と を つ

な ぐ こ と に よ り 住 宅 に で き る 「テ ー マ」を ひ と つ と つ、丁 寧 に 実 現 さ せ て い る 設 計 者 の 思 い が 感 じ ら れ ます。

敷 地 の 形 状 を 生 か し た 空 間 構 成 は 環 境 負 荷 を 軽 減 し、変 化 の あ る 空 間 を つ く り 出 し、回 遊 性 の あ る 平 面 計 画 と と も に 興 行 き の あ る 住 空 間 を つ く り 出 し て い ます。

「継 手」や 「仕 口」に も こ だ わ り な が ら の 家 づ く り は、伝 統 技 術 を 継 承 し な が ら 現 代 の ラ イ フ ス タ イ ル と の 融 合 を 図 っ た、新 し い ス タ イ ル の 住 宅 を つ く り 出 し て い ます。

●審査委員長

柴 和伸 (二社) 茨 城 県 建 築 士 会 会 長

●委員

- 横 須 賀 満 夫 (二社) 茨 城 県 建 築 士 事 務 所 協 会 会 長
- 下 田 徳 行 (二社) 茨 城 県 建 設 業 協 会 建 築 委 員 長
- 森 秀 男 (株) 山 森 取 締 役 会 長
- 浅 川 清 司 (茨 城 県 木 材 協 同 組 合 連 合 会 木 造 建 築 部 会 長)
- 野 村 和 弘 (茨 城 県 農 林 水 産 部 次 長 兼 林 政 課 長)
- 中 村 浩 (茨 城 県 土 木 部 技 監 兼 都 市 局 住 宅 課 長)